



新就任した院長・副院長・診療部長の紹介

済生会神奈川県病院は、大正 2 年に全国済生会の第 1 号病院として開設され、2013 年 9 月 1 日に 100 周年を迎えました。開院以来、「恵まれない人々のために施薬救療し、済生の道を弘める」という済生勅語の精神に則り、地域に密着した公的医療機関としての役割を担ってまいりました。

平成 19 年に済生会横浜市東部病院が開設され、それまで当院で行ってきた診療機能の大部分が東部病院に移行され、救急、手術などの高度な急性期医療は東部病院、リハビリテーションなどの亜急性期医療は神奈川県病院と機能分化が行われました。しかし、本年 2 月新棟西館オープンを機に、当院の機能は今後徐々に急性期に転換していきます。今後目指す機能は、1. 地域のニーズに応える医療 2. 特化した急性期医療 3. 済生会横浜市東部病院との連携医療 4. 高品質の回復期医療 です。手術の種類・件数ともに増加させ、内科を中心とした一部の救急医療に取り組む予定です。その他来年 4 月には緩和ケア病棟の開設も予定しております。透析、予防医療の充実はさらに発展させてゆきます。これからの数年は変革の時期になります。

当院の基本的使命は、済生会横浜市東部病院との役割分担と連携を軸とする協働により、神奈川区、鶴見区の横浜市東部地域に良質な地域完結型医療システムを構築することにあります。

そのため済生会横浜市東部病院をはじめ、地域の病院、診療所と力を合わせ、この地域でいつでもどこでも、良質な医療が受けられるという「患者さん中心の地域完結型医療」の構築に向けて医療連携をさらに進めてまいります。

私たちは「質のよい医療 優しい医療 信頼される医療」を理念とし、これからも済生会の理想を実現するために、地域住民の方々のご要望にお応えすることで常に進化し、満足していただける病院機能をはたすべく尽力してまいります。

今後も、皆様から信頼される病院をめざして、職員一同努力していく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 長島 敦

長年当院および済生会横浜市東部病院の発展し尽力された山室先生が退職され、非力ではありますが副院長を拝命しました。

ここ数年病院体制の変更が続く中、いよいよ新館がオープンし、長島新院長も赴任されました。

今後は、地域包括ケアシステムの拠点病院機能の充実のため、診療体制の更なる改善、若手スタッフの充実と教育、関係機関との一層の連携のため邁進する所存です。

副院長 原 一



診療部長を拝命しました外科の土居正和です。

これまで得意としていたリハビリテーション、維持透析を中核とした回復期に加え、地域の皆様のニーズに応えるべく予防医療と急性期も一部担っていかうと病院全体が舵を切りました。

より良い医療を提供できるよう診療部も含め病院全体で頑張っていく所存ですので皆様方からより一層のご指導、ご鞭撻を賜れば幸いです。

どうぞ宜しくお願い致します。

診療部長 土居 正和

